

提携先	J A たきかわ	記入日	2008/9/4
登録消費材名	北海道 江部乙米		

．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

とんぼの会は、平成19年度27名の会員で約200haの水田に自主基準に基づき、生活クラブに供給するお米を生産しています。また、生活クラブ組合員と「顔の見える」つながりを深め、各種交流を行っています。

19年産米については、自主基準で農薬成分回数が10回以内となっていますが、実際は除草剤3回、本田防除1回、本田防除1回 合計成分回数5回での栽培となりました。経営面においては、米価の低迷により生産現場段階でのコスト削減は限界にきており、価格の回復を強く望んでおります。

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

平成18年度より作付けを行ってきました高度クリーン米(農薬成分回数3回、減化学肥料)の作付けを拡大し、平成19年度には15haとすることができました。

また、生活クラブとの交流事業の一つとして行ってきました「子供米作り体験隊」については「米作り体験ツアー」に変更し、子供だけではなく大人にもより多く参加してもらう活動として実施し、作業内容も田植え、草取り、生き物調査、稲刈りとし、各作業毎に参加者を募集することで、より多くの人に米作りを体験してもらうことが出来ました。

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

本年は、自主基準の改正を行い農薬成分回数5回を基準化。また食味の基準となっているタンパク値にもこだわり、タンパク値7.5以下のお米(目標6.8以下)を「とんぼ米」として生活クラブに供給いたします。